

令和7年度九州スマート農業技術情報連絡会議活動方針

1. 趣 旨

スマート農業実証プロジェクト（以下「実証プロジェクト」という。）が令和元年度より開始され、プロジェクトで得られた、技術的・経営的効果を幅広く農業の現場や関係機関等に発信するとともに、引き続き農業者等へ「見られる・試せる・体験できる」機会を提供することが重要となっている。

このため、九州農政局では、実証グループ（コンソーシアム）、試験研究機関、行政等の関係者を構成員とした「九州スマート農業技術情報連絡会議」を創設し、会議やイベント等の開催を通じて各種情報の提供や関係機関との連携を強化してきた。また、みどりの食料システム戦略に基づきスマート農業技術を活用した持続性の高い生産基盤の構築を支援してきた。

昨年度、食料・農業・農村基本法の改正や関係法である「農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用促進に関する法律」（以下「スマート農業技術活用促進法」という。）が制定されたところであり、当該法律の趣旨や内容について周知を行ってきたところであるが、本年度は、以下の活動を通じて、管内におけるスマート農業技術の現場実装をより一層加速化する。

2. 活動内容

- ①第1回九州スマート農業技術情報連絡会議（7月9日）
 - ・スマート農業技術活用促進法に基づく施策等の推進
 - ・スマート農業技術の取組事例の紹介
 - ②第2回九州スマート農業技術情報連絡会議（10月）
 - ・スマート農機の紹介
 - ③スマート農業推進フォーラム（12月）
 - ・テーマに併せて成果の報告や事例などの提供
 - ・スマート農業関係者間のマッチング
 - ④スマート農業イノベーション推進会議（IPCSA）の地方マッチングイベントの開催（他のイベントと同時開催を検討）
 - ・スマート農機等の操作体験等が可能な企画を検討
 - ⑤みどり技術ネットワーク地域会議の開催（他のイベントと同時開催を検討）
 - ・みどりカタログ掲載技術の導入事例紹介
- ※農研機構九州沖縄農業研究センターとの連携を図る。

3. 参集範囲

- ①構成員
 - スマート農業実証プロジェクトコンソーシアム構成員（令和元年～5年）
 - 管内各県スマート農業担当部局及び県農業試験場担当者等
 - 農研機構九州沖縄農業研究センター及び本部みどり戦略・スマート農業推進室等の担当者
 - 九州農政局（各県拠点等を含む）
- ②関係機関等担当者（農業支援サービス関連事業者等（利用者等）含む）
- ③一般参加

4. 事務局

九州農政局生産部環境・技術課

担当：課長補佐	中島 基貴	096-300-6266
新技術実装係	谷永 悠季	096-300-6270
新技術実装係	田吹 良介	096-300-6273